

◇ ◇ 講演会・講習会・学術研究集会等 ◇ ◇

—— 関西支部

●電気三学会関西支部一般見学会「関西電力(株)エネルギー利用技術研究所」

関西電力(株)エネルギー利用技術研究所では、エネルギーマネジメントシステム (EMS) や蓄電池システムの開発に取り組みされており、研究所内にこれらのシステムや太陽光発電を試験的に導入し、様々な検証を行っています。

今回の見学会では、同研究所内に試験導入された実証設備を見学するとともに、研究内容等も御紹介し、エネルギーの有効利用に関する最新技術・設備を実感頂きたいと思えます。是非、奮って御参加下さいますようお願い申し上げます。

日 時 平成 26 年 10 月 1 日 (水) 13:30~15:45

見学先 関西電力(株)エネルギー利用技術研究所 (尼崎市若王寺 3-11-20)

(<http://www.kepco.co.jp/corporate/info/rd/access/index.html>)

集合時刻 13:30 (時間厳守, 晴雨不問)

集合場所 関西電力(株)電力技術研究所・エネルギー利用技術研究所入口前

内 容 ・ 研究所概要説明  
・ 研究・実証試験内容説明  
「EMS によるエネルギー最適技術に関する研究」, 「蓄電池システムの実証試験」  
・ 研究設備見学  
・ 質疑応答等

アクセス 阪急電鉄: 神戸線「園田駅」から徒歩約 20 分, JR 東海道本線「尼崎駅」からタクシーで約 15 分あるいはバス 11, 12 系統「近松公園」下車徒歩約 5 分

参加費 無料 (会員, 非会員問わず)

定 員 40 名 (申し込み先着順, 定員になり次第, 締め切らせて頂きます。)

申込方法 電気学会関西支部の HP (<http://www.iee.jp/kansai/>) の申し込みフォームからお申し込み下さい。はがき, FAX または E-mail からもお申込み頂けます。所属, 氏名, 連絡先を御記入の上, 下記の申込先に御連絡下さい。(お知らせ頂きました個人情報, 行事の運営に必要な場合のみに使用します。)

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25 中央電気倶楽部内

関西電気関連学会事務センター

TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534

[denki4g@ares.eonet.ne.jp](mailto:denki4g@ares.eonet.ne.jp)

主 催 電子情報通信学会・電気学会・映像情報メディア学会各関西支部

共 催 電気学会中国支部・電気学会四国支部

●電気三学会関西支部「准員及び学生員のための講演会 (前半)」

例年, 電気三学会 (電子情報通信学会, 電気学会, 映像情報メディア学会) 関西支部では, 平素は聴講できない他大学並びに一般企業の諸先生方の講義を交換講義の形で聴講できるように, 定期講演会を開催しています。

平成 26 年度の前半分は, 下記により開催しますのでこの機会を生かして自由に御聴講下さるよう, 御案内申し上げます。

・ 10 月 7 日 (火) 13:00~15:00

テーマ: 可視光レーザーが拓く未来—レーザー照明・ディスプレイから植物工場まで—

講 師: 山本和久 (阪大)

会 場: 大阪産業大学 (4510 会議室) TEL [072] 875-3001

・ 10 月 14 日 (火) 13:00~14:30

テーマ: 情報通信研究機構の最近の研究—情報通信と標準計測—

講 師: 細川瑞彦 (NICT)

会 場: 大阪大学 (基礎工学国際棟シグマホール) TEL [06] 6850-6301

・ 10 月 23 日 (木) 14:30~16:00

テーマ: 企業における系統技術

講 師: 黒田和宏 (日新電機)

- 会 場：舞鶴工業高等専門学校（視聴覚教室）TEL〔0773〕62-8962
- ・10月24日（金） 14：40～16：40  
 テーマ：HEMT 開発よもやまばなし  
 講 師：冷水佐壽（元奈良高専）  
 会 場：和歌山工業高等専門学校（大講義室）TEL〔0738〕29-8367
  - ・11月10日（月） 14：40～16：10  
 テーマ：大型リチウムイオン電池の産業用分野への適用例  
 講 師：山口雅英（GSユアサ）  
 会 場：大阪電気通信大学（寝屋川キャンパスJ号館6階小ホール）TEL〔072〕824-1131
  - ・11月13日（木） 13：20～14：50  
 テーマ：建設会社における再生可能エネルギーへの取り組みについて  
 講 師：古田康衛（鹿島建設）  
 会 場：大阪工業大学（常翔学園 OIT ホール）TEL〔06〕6954-4228
  - ・11月18日（火） 15：00～16：30  
 テーマ：パワーエレクトロニクス分野の教育と研究から学ぶ—工業高等専門学校そして大学—  
 講 師：川畑良尚（立命館大）  
 会 場：大阪府立大学工業高等専門学校（図書館視聴覚大ホール）TEL〔072〕820-8549
  - ・11月24日（月） 16：20～17：50  
 テーマ：MPEG 開発物語—De-Facto と De-Jure 標準—  
 講 師：村上篤道（早大）  
 会 場：立命館大学（びわこ・くさつキャンパス プリズムホール）TEL〔077〕561-2685
  - ・11月25日（火） 13：00～14：30  
 テーマ：CPU クロック制御によるサーバのピークエネルギー消費削減  
 講 師：石島 悌（阪府産総研）  
 会 場：京都工芸繊維大学（60周年記念館 1F）TEL〔075〕724-7452
  - ・12月22日（月） 14：40～16：10  
 テーマ：核融合研究の最前線  
 講 師：成嶋吉朗（核融合科学研）  
 会 場：明石工業高等専門学校（階段教室）TEL〔078〕946-6079

●電気三学会関西支部専門講習会「エネルギーマネジメントの現状と課題—需要家サイドから電力供給サイドまで—」  
 近年、温室効果ガスの排出削減や原子力発電所の停止に伴う電力不足を背景に、高度な情報通信技術を活用したエネルギーシステムのスマート化が注目を集めています。特にこれまでは需要に合わせてエネルギーを消費するのみであった需要家サイドにおいて、高度なエネルギーマネジメント技術の導入が検討されています。一方、電力供給システムにおいては、安定な電力供給実現のため、従前より給電計画や需給運用など着実なエネルギーマネジメント業務を実施してきています。本講習会では、需要家サイドにおけるエネルギーマネジメントとして、住宅・業務ビル・自治体（地域）の視点からの御講演と、電力供給サイドにおけるエネルギーマネジメントとして主に給電計画業務について御講演頂きます。更に先進的な取組み事例として、米国を中心とした海外事例について御講演頂きます。奮って御参加下さい。

日 時 平成26年10月15日（水） 13：00～17：00

会 場 中央電気倶楽部215号室（大阪市北区堂島浜2-1-25、堂島地下街南詰を右側に上がり、右へ約50m、左側のレンガ造りの建物。http://www.chuodenki-club.or.jp/を御覧下さい。）

題目と講師

- |   |            |
|---|------------|
| (1) 開講の挨拶                                     | 電気学会関西支部   |
| (2) 業務ビルにおけるエネルギーマネジメント                       | 野間 節（アズビル） |
| (3) 家庭と住宅地におけるエネルギーマネジメント                     | 下田吉之（阪大）   |
| (4) 「けいはんなエコシティ次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクト」の取組み概要 | 渡邊秀人（京都府）  |
| (5) 電力システムにおける需給マネジメント                        | 多田充宏（関西電力） |
| (6) デマンドレスポンスの海外動向                            | 山口順之（電力中研） |

## (7) 閉講の挨拶

聴講料 主催学会会員 8,000 円, 准員・学生員 無料 (会員 不課税)

会員外一般 10,300 円, 学生 2,100 円 (会員外 消費税込み)

定員 40 名 (定員になり次第, 締め切らせて頂きます)

申込方法 電気学会関西支部 HP からお申込み下さい。 (<http://www.iee.jp/kansai/>)。 はがき, FAX, E-mail によるお申し込みの場合, 講習会題目, 開催日, 会員種別, 氏名, 連絡先 (会社あるいは学校名, 所属, 郵便番号, 所在地, 電話番号) を, 下記の申込先まで御連絡下さい。 後日, 参加証と請求書をお送り致します。 なお, お知らせ頂きました個人情報, 行事の運営に必要な場合のみ使用致します。

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25 中央電気倶楽部内

関西電気関連学会事務センター

TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534

denki4g@ares.eonet.ne.jp

主催 電子情報通信学会・電気学会・映像情報メディア学会各関西支部

### ●IEICE 関西支部 ICT 基礎講座「機械学習の基礎と応用」

近年の情報通信関連開発では, 必要とされる技術の多様化と開発期間の短縮により, 若手技術者が OJT を通して基礎知識や基礎技術を習得することが難しくなっていると指摘されています。 また, これまで予想されなかった分野で情報通信技術が適用されることも増えており, 大学・大学院教育で身に付けた技術分野を越えた多彩な技術を修得する必要性が高まっています。

このような状況を鑑み, 電子情報通信学会関西支部では, 情報通信に関する様々な技術を集中講義形式で学習できる講座「IEICE 関西支部 ICT (Information and Communication Technology) 基礎講座」を開講しています。 本講座は基礎的な知識や技術に重点を置きながら, 基礎から展開して最先端技術へ至るまで講義・実習することを目的としています。 各講座の受講者数を 15 名程度の少人数に絞ることで講師との双方向コミュニケーションを可能とし, 短期間で先端技術の基礎を習得することを狙っております。 今年度の第 2 回の講座として「機械学習の基礎と応用」を下記のとおり開講致します。 幸いなことに, これまで開催された講座は, 受講生から大変高い評価を頂いております。 皆様の積極的な受講をお待ちしております。

日時 平成 26 年 10 月 16 日 (木) 9:40~16:50

会場 中央電気倶楽部 214 号室 (交通等前掲参照)

内容 ビッグデータの解析ツールである機械学習について, 教科書に沿って解説するとともに, 最新の話題についても紹介します。 シラバスは下記 URL から御覧頂けます。

<http://www.ieice.org/kansai/ict/>

講師 池田和司 (奈良先端大)

受講料 会員: 8,000 円, 学生: 2,000 円, 非会員: 20,000 円 (会員, 非会員共に消費税込み)

募集人数 5 名以上, 最大 15 名程度 (開講 2 週間前までに申込み人数が 5 名に達しない場合, 開講しないこともあります)

申込方法 関西電気関連学会事務センターに電子メールで申し込み下さい。

問合せ先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25 中央電気倶楽部内

関西電気関連学会事務センター

TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534

denki4g@ares.eonet.ne.jp

主催 電子情報通信学会関西支部

### ●電気三学会関西支部専門講習会「医療情報基盤とビッグデータ解析の最新動向—医療データの取得・蓄積・解析・活用—」

近年, 医療・ヘルスケア分野でのビッグデータの集積と活用が注目を集めています。 個人の医療データや日常生活のデータを蓄積し, 一人ひとりに合わせた質の高い医療と健康管理に期待が高まっています。 この実現のためには, 医療データの統一的な基準での継続した取得, 医療データを蓄積する医療情報基盤の構築, 蓄積した医療データからの法則の抽出と医療・ヘルスケアへの活用など, 医学と情報学の両分野に渡る課題があります。 本講習会では, 医療ビッグデータの取得・蓄積・解析・活用までの研究と実用化に関して, 最前線で御活躍の専門家の方々に御紹介頂きます。

皆様の御参加をお待ち申し上げます。

日時 平成 26 年 10 月 21 日 (火) 9:55~16:45

会 場 中央電気倶楽部 513 号室（交通等前掲参照）

講演内容

- |                                      |              |
|--------------------------------------|--------------|
| (1) 開講の挨拶                            | 電子情報通信学会関西支部 |
| (2) ヒト生命情報統合解析と大規模ゲノムコホート研究          | 松田文彦（京大）     |
| (3) 医療情報の電子化に基づく臨床研究基盤構築             | 松村泰志（阪大）     |
| (4) 医療ビッグデータの活用事例と課題—検査データの活用を中心として— | 片岡浩巳（高知大）    |
| (5) 機械学習技術を用いた保健医療データ分析              | 上田修功（NTT）    |
| (6) 行動センシング技術がもたらす医療・健康情報の分解能向上      | 黒田知宏（京大）     |
| (7) 閉講の挨拶                            | 電子情報通信学会関西支部 |

聴講料 主催学会会員（正員 10,000 円，准員・学生員 無料），非会員（一般 12,000 円，学生 2,000 円）（会員，非会員共に消費税込み）

定 員 80 名（定員になり次第，締め切らせて頂きます）

申込方法 開催日・会員種別・氏名・連絡先（会社学校名・所属・郵便番号・所在地・電話番号）を電子情報通信学会関西支部の HP（<http://www.ieice.org/kansai/>）からお申込み下さい。なお，はがき，FAX，E-mail でも受け付けますので下記にお申込み下さい。

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25 中央電気倶楽部内  
関西電気関連学会事務センター  
TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534  
[denki4g@ares.eonet.ne.jp](mailto:denki4g@ares.eonet.ne.jp)

主 催 電子情報通信学会・電気学会・映像情報メディア学会各関西支部

### ●電気三学会関西支部専門講習会「電気電子系学生及び研究者のための英語処方」

近年，グローバル化に伴って，英語で情報を発信する能力がますます求められるようになってきました。特に，英語での論文執筆や，海外で研究発表を行うためのスキルは，研究者にとって必要不可欠なものとなりつつあります。一方，日本における英語教育は，一般的に受信（リーディングとリスニング）に重点が置かれ，発信（ライティングとスピーキング）に関する，系統的な教育が施されていないのが現状です。英語による情報発信の方法を学ぶ機会は非常に少なく，研究者は独学によってスキルを向上させることが強いられています。そこで，本講習会では，「英語による情報発信の方法について系統的に学ぶ機会の提供」を目標と致しました。同志社大学の馬場先生をお招きし，「英語論文執筆方法」と，「英語論文発表方法」という二つのテーマについて，御講演して頂きます。馬場先生は，「電気電子系学生のための英語処方」という本を執筆しておられ，英語による情報発信の方法について，大変深い知識を持っておられます。学生のみならず，技術者・研究者の方々にも，大変有意義な内容です。奮っての御参加をお待ちしています。

日 時 平成 26 年 10 月 31 日（金） 13：30～15：50

会 場 中央電気倶楽部 215 号室（交通等前掲参照）

題目と講師：

- |             |            |
|-------------|------------|
| (1) 開講の挨拶   | 電気学会関西支部   |
| (2) 英語論文執筆法 | 馬場吉弘（同志社大） |
| (3) 英語論文発表法 | 馬場吉弘（同志社大） |
| (4) 閉講の挨拶   | 電気学会関西支部   |

参加費（テキスト代別）：主催学会 会員 4,000 円，准員 1,500 円，学生員 無料（会員 不課税），会員外（一般）5,100 円，会員外（学生） 無料（会員外 消費税込み）

テキスト「電気電子系学生のための英語処方：論文執筆から口頭発表のテクニックまで」著者 馬場吉弘，監修 William A. Chisholm，電気学会出版（冊子価格：会員 2,160 円，一般 2,700 円（税込））を使用します。希望者には特別価格（1,900 円（税込））で頒布致します。テキストが必要な方は 10 月 16 日（木）までに事前にお申込をお願い致します。はがきは締切日必着でお願いします。Web 申込ではテキストの要否欄に「要」を，はがき/FAX/E-mail には，「テキスト希望」と書いて下さい。テキストは当日お渡し致します。

定 員 40 名（定員になり次第，締切ります）

申込方法 電気学会関西支部 HP（<http://www.iee.jp/kansai/>）からお申込み下さい。はがき，FAX または E-mail による申込の場合，講習会題目，開催日，会員種別，氏名，連絡先（会社あるいは学校名，所属，郵便番号，所在地，電話番号）並びにテキストの要否を，下記の申込先まで御連絡下さい。後日，参加証と請求書をお送りします。なお，お知らせ頂きました個人情報，行事を運営する目的以外に使用することはありません。

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25 中央電気倶楽部内  
関西電気関連学会事務センター  
TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534  
denki4g@ares.eonet.ne.jp

主 催 電子情報通信学会・電気学会・映像情報メディア学会各関西支部

—— 本会・ソサイエティ・グループ・研究専門委員会等主催・共催 ——

●HCG シンポジウム 2014—ヒト・モノ・トコロを紡ぐ豊かな情報を発信する ICT—

毎年 12 月の恒例となりました。電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) が主催する HCG シンポジウム 2014 への投稿の御案内です。2011 年のサンポートホール高松 (香川県高松市)、2012 年のくまもと森都心プラザ (熊本県熊本市)、2013 年の松山市総合コミュニティセンター (愛媛県松山市) を経て、2014 年は山口県下関市の海峡メッセ下関において開催されます。

会 期 平成 26 年 12 月 17 日 (水)~19 日 (金)

会 場 海峡メッセ下関 (<http://www.kaikyomesse.jp/>)

発表申込締切 平成 26 年 9 月 3 日 (水) 24:00 JST

発表原稿締切 (予定) 平成 26 年 10 月 17 日 (金) 24:00 JST

副 題 —ヒト・モノ・トコロを紡ぐ豊かな情報を発信する ICT—

招待講演 森 朗 (ウェザーマップ; 気象予報士)

講演内容:

- ・人間の行動と気象・天気との関係を環境問題・歴史・生活・防災などの視点から解説
- ・気象解析・天気予報における情報通信技術について解説

発表申込や最新情報につきましては下記 URL を御覧ください。

<http://2014.hcg-symposium.org/>

HCG シンポジウムの大きな特長は、HCG に属する各研究会はもとより、その他の研究分野との横断的かつ濃密な交流を促進していることです。その試みの一つとして、今年も全ての口頭発表者に対してインタラクティブ発表枠を付与することにしております。直接的に意見を交換する機会を増やし、研究の更なる発展を促す狙いです。

- ・口頭発表者によるインタラクティブ発表は義務ではありませんが、コアタイムにはできるだけ御参加下さい。
- ・インタラクティブ発表では発表用パネルにポスター (口頭発表用スライドを印刷したものでも可) を貼って頂きます。
- ・電源を用意致しますので、ノート PC を用いたデモ等を行うことができます。
- ・インタラクティブ発表のみの参加者も募集しております。萌芽的な研究や研究プロジェクトの紹介などに御活用下さい。

特に学生の皆様にとっては、修論・卒論等の執筆開始の時期に合わせて、指導教員や研究室メンバーではない外部の研究者による様々な立場からの意見を得ることができ、より多面的な観点でバランスのとれた論文執筆に役立てられると期待されます。是非、積極的に御参加下さい。

また、ある特定のトピックに関する研究発表を集め、活発に議論を行う「オーガナイズドセッション」を今年も企画致します。今年下記の下記の 4 セッションを予定しております。

その分野の専門家と議論を行うことができますので、積極的な投稿をお待ちしております。

各オーガナイズドセッションの募集内容や投稿方法の詳細につきましては Web ページ (<http://2014.hcg-symposium.org/>) を御覧ください。

オーガナイズドセッション I

タイトル:「コミック工学」

オーガナイザ: 松下光範 (関西大)

内容: タブレットやスマートフォン等、デジタル端末で読むことのできる電子書籍が急速に普及しつつある。とりわけ、デジタルコミックはその売り上げの 8 割を占める主力コンテンツとなっている。デジタルコミックは、従来の紙媒体のコミックと異なり物理的な制約がないため、従来のコミックの枠に捉われない表現や利用が可能である。しかし現状では、多くの作品は単に紙媒体のコンテンツをスキャナで取り込んでそのままデジタル化した静的なものであり、デジタルコミックの可能性を十分に生かせる状況にはない。本オーガナイズドセッ

ションは、こうした現状を打破しデジタルコミックの可能性を追求するための技術やアプリケーションを醸成する場として企画された。様々な角度から電子コミックを対象とした研究が一堂に会することで、研究推進のためのブレイクスルーや相乗効果が期待される。なお、本セッションは昨年の HCG シンポジウムで行ったコミック工学のオーガナイズドセッションの第 2 回目である。昨年の内容からの研究の展開を感じて頂ければ幸いです。

#### オーガナイズドセッションⅡ

タイトル：「ヒューマンセンタードデザインの理論と実践」

オーガナイザ：新井田統（KDDI 研）・大野健彦（NTT）

内容：昨年度に引き続き「ヒューマンセンタードデザイン」に関連する研究発表を募集する。研究成果のプレゼンテーションの他に、HCD コミュニティにおける学会活動の意義について議論するワークショップを開催する。

#### オーガナイズドセッションⅢ

タイトル：「雰囲気工学」

オーガナイザ：湯浅将英（湘南工科大）・片上大輔（東京工芸大）・小林一樹（信州大）・田中貴紘（名大）

内容：雰囲気に関する人同士のコミュニケーション研究，人とエージェントやロボットとの対話研究，ネット上の SNS や twitter における雰囲気，さらに新しい研究領域からの野心的，先進的な研究を募集する OS を企画する。本 OS では，様々な創り出される「雰囲気」を統一的に検討し雰囲気を解き明かし，「雰囲気」を構成する工学的モデルを探るとともに新たなコミュニケーション研究の創出を目指す。

#### オーガナイズドセッションⅣ

タイトル：「G 空間コンピューティング：センシングからコミュニケーションまで」

オーガナイザ：蔵田武志（産総研）

内容：スマートフォンの普及が進み，スマートグラスやスマートウォッチなどのウェアラブルデバイスも普及の兆しを見せている。ユーザの状況を把握し，情報支援，コミュニケーション支援などを行うには，「G 空間コンピューティング」，具体的には，屋内外測位技術や実空間モデリング技術をはじめ，それらにより得られた時空間情報の活用手段（例：AR/MR），ジオコミュニケーションサービスなどの充実が求められる。本 OS では，技術やコンセプトの提案から，ベンチマーク，応用，実証にいたるまで包括的に発表を募集し，G 空間コンピューティングの今後についての議論を深めることを目的とする。

HCG シンポジウム 2014 では，優れた研究発表を下記のとおり表彰する予定です。

- ・最優秀インタラクティブ発表賞（一般／学生問わず）
- ・優秀インタラクティブ発表賞（一般）
- ・学生優秀インタラクティブ発表賞（学生）
- ・オーガナイズドセッション賞（一般／学生問わず）

昨年は 108 件の研究発表（口頭発表 76 件，インタラクティブ発表のみ 32 件）が寄せられ，活発な議論が交わされました。また，参加者も 206 名と過去最大規模となり，活気あふれるシンポジウムとなりました。今年も皆様の御投稿，御発表を心よりお待ちしております。

シンポジウムに引き続いて，電子情報通信学会論文誌「情報・システム：D」においてヒューマンコミュニケーション特集号が予定されております。シンポジウム発表後にブラッシュアップした研究成果を本特集号に御投稿頂ければ幸いです。また，シンポジウムでの優秀な論文につきましては，本特集号への推薦論文として推薦致します。

情報保障の御案内：視覚や聴覚等に障がいを持った方でも参加・発表できるように情報保障を行います。

詳しくは右記 URL を御覧下さい。 <http://2014.hcg-symposium.org/>

主 催 ヒューマンコミュニケーショングループ

協 賛 ヒューマンインタフェース学会，映像情報メディア学会，計測自動制御学会，情報処理学会，日本バーチャルリアリティ学会，日本音響学会，日本顔学会，日本認知科学会，日本認知心理学会（依頼中含む）